

名前 () 日づけ (/) できた数 (/24)

使い方 書き下し文を声に出して読んでから、傍線の番号を手がかりに解きます。**A語句** → **B句法** → **Cだれのことが** → **D口語訳** → **E記述** → **F文学史**の順です。

あらすじ＝斉に敗れた燕の昭王が、人材を集めたいと郭隗に相談する。郭隗は「死んだ馬の骨を高く買ったら名馬が集まった」という話をして、「まず私から厚遇してください」と言う。昭王がそのとおりにすると、賢者が争って燕に集まった。

一次の書き下し文を読んで、後の問いに答えよ。

燕人（えんひと）太子平（たいしへい）を立てて君（きみ）と為（な）す。是（こ）れを昭王（しょうおう）と為す。①死を弔（とむら）ひ生を問ひ、②辞を卑（ひく）くし幣（へい）を厚くして、以て賢者を招く。郭隗（かくかい）に問ひて曰（い）はく、「斉（せい）孤（こ）が国の乱（みだ）れに因（よ）りて、燕を襲破（しゅうは）せり。④孤極（きわ）めて燕（えん）の小（しょう）にして以（もつ）て報（むく）ゆるに足らざるを知る。⑤誠（まこと）に賢士（けんし）を得て与（とも）に国を共にし、以て先王の恥（はじ）を雪（すす）がんこと、孤が願ひなり。先生（せんせい）⑥可（か）なる者を視（しめ）せ。身（み）づから之（これ）に事（つか）ふることを得（え）ん。」と。

隗曰はく、「古（いにしへ）の君（きみ）、千金（せんきん）を以て⑦涓人（けんじん）をして千里の馬を求めしむる者（も）の⑧有（あ）り。⑧死馬（しば）の骨を五百金に買（か）ひて返（かへ）る。君怒（いか）る。涓人曰はく、『⑨死馬（しば）すら且（か）つ之（これ）を買ふ。況（いは）んや生ける者をや。馬今に至（いた）らん。』と。⑩年（とし）を期（き）せずして、千里の馬至る者三（み）たびなり。今（いま）王（おう）必ず士を致（いた）さんと欲（ほつ）せば、⑪先づ隗（かい）より始めよ。況んや隗より賢なる者、⑫豈（あ）に千里を遠しとせんや。」と。

是（ここ）に於（お）いて昭王⑬隗の為（ため）に宮（きゆう）を改築し、⑭之に師事（しじ）す。是に於いて⑮士（し）争（あらず）ひて燕に趨（おもむ）く。

語注 孤＝王侯の自称。「わたくし」。幣＝贈り物。雪ぐ＝恥をすすぐ。涓人＝宮中の雑用をする近侍の役人。千里の馬＝一日に千里走る名馬。すぐれた人材のたとえ。期す＝期間を定める。師事す＝師として仕える。

A 語句と読み(1～6)

- (1) ①「死を弔(とむら)ひ生を問ひ」の意味
- (2) ②「辞を卑(ひく)くし幣(へい)を厚くして」の意味
- (3) ③「可(か)なる者」とはどのような者か
- (4) ④の「涓人」とはどのような役目の人か
- (5) ⑤「年(とし)を期(き)せずして」の意味
- (6) ⑥の「趨く」の読みと意味

B 句法(7～10) ※抑揚・反語・使役

- (7) ⑦「死馬すら且(か)つ之(これ)を買ふ。況(いは)んや生ける者をや」の句法名
- (8) ⑧の句法は、どのような言い方か。はたらきを説明せよ
- (9) ⑨「豈(あ)に千里を遠しとせんや」の句法名
- (10) ⑩「涓人をして千里の馬を求めしむ」の句法名

C だれのことか (11～13)

(11) ③・④の「孤」とは誰のことか

(12) ⑪「先づ隗(かい)より始めよ」と言ったのは誰か。またその「隗」とは誰か

(13) ⑬・⑭で、宮を改築し師事したのは誰か

D 口語訳 (14～17)

(14) ④「孤極(きわ)めて燕(えん)の小(しょう)にして以(もつ)て報(むく)ゆるに足らざるを知る」

(15) ⑨「死馬すら且(か)つ之(これ)を買ふ。況(いは)んや生ける者をや」

(16) ⑩「年(とし)を期(き)せずして、千里の馬至る者三たびなり」

(17) ⑫「豈(あ)に千里を遠しとせんや」

E 内容・記述 (18～22)

- (18) ⑤「誠(まこと)に賢士(けんし)を得て与(とも)に国を共にし、以て先王の恥(はじ)を雪(すす)がんこと」とあるが、昭王の願いを二点にまとめて書け。

- (19) ⑧「死馬(しば)の骨を五百金に買(か)ひて返(かへ)る」について、涓人はなぜ死んだ馬の骨を五百金もの大金で買ったのか。四十字以内で書け。

- (20) ⑪「先づ隗(かい)より始めよ」と進言したとき、郭隗は自分を何になぞらえているか。たとえ話と対応させて書け。

- (21) ⑮「士(し)争(あらそ)ひて燕に趨(おもむ)く」とは、どういうことになったというのか。三十字以内で書け。

- (22) 故事成語「隗より始めよ」について、(1)もともとの意味と(2)今よく使われる意味を、分けて書け。

F 文学史 (23～24)

- (23) この故事の出典を二つ答えよ。

- (24) この話の舞台になっている国と、人材を求めた王の名を答えよ。

【テスト直前チェック】この三つ ①抑揚形「死馬すら且つ之を買ふ。況んや生ける者をや」＝軽いものを挙げて重いものを強調する。この話の心臓部。 ②反語「豈に千里を遠しとせんや」。 ③隗＝死んだ馬の骨という対応。ここが分かれば記述はすべて解けます。